



令和7年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

第1回 専門医研修会

テーマ：顎顔面補綴

抄録集

日時：2025年7月20日（日）10：00～12：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

理事長 大久保力廣

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：マーケティングインテリジェントオフィス

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-6-28 天神ファーストビル 7階

令和 7 年度
公益社団法人 日本補綴歯科学会
第 1 回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	5
3. 専門医研修会抄録	7

1. 専門医研修会参加の皆様へ

開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2025 年 7 月 20 日（日）10:00 ～ 12:00

オンデマンド 2025 年 7 月 22 日（火）～ 8 月 1 日（金）

（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）

単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。
アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

いかなる理由があろうとも，途中退出が認められる場合，単位付与はされません。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

【日歯生涯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに
日歯 IC カード番号（6 桁）を記入して下さい。

【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，ライブ配信終了後，Zoom のチャット機能にて運営より
フォームの URL をご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

参加登録

申し込みは、2段階となっております。管理の都合上、お手順をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加費（3,000 円）のお支払い方法は、1) クレジットカード決済または 2) 銀行振込の 2 通りとなります。

※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性がありますので、極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします。

【研修会参加申込フォームはこちら】

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/682e6cbac341f92648ee375c

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

＜ご案内＞

令和 7 年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました。

プライバシーポリシー

<https://payvent.net/privacy-policy/>

1. 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、お支払方法を選択の上、決済画面へお進みください。
2. 参加登録・参加費のお支払いが完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。
3. 銀行振込の方は、登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。そちらのメールに、お振込み口座が記載されていますので、**7 月 18 日（金）正午までにお振込みください。**

お振込先は、本参加登録システム Payvent が利用している決済代行会社が指定する銀行口座（stripe（ストライプ））へのお振込みとなります。

※同じアドレス宛に Zoom の URL をご連絡いたしますので、自動返信メールの受信を必ずご確認ください。

4. 視聴登録用 URL を入力されたメールアドレス宛に 7 月 18 日（金）夕方から順次お送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply @ zoom.us から参加用のメールが届きます。7 月 19 日（土）になってもメールが届かない場合は、運営事務局（info@hotetsu-specialty.com）へお名前フルネームと会員番号を記載の上メールにてご連絡をお願いいたします。BCC メールが届かない方が一定数いらっしゃいますので、ご確認をお願い致します。

※研修会当日には、電話対応致しておりません。研修会当日は、メールに関してもすぐに返信することは難しいことをご了承ください。

参加・視聴方法

上記の 2 段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URL をクリックしてください。
当日は 20 分前より入室可能予定です。

参加する皆様へ

1. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は 7 月 18（金）に配信されるメール記載の ID、パスコードをご入力願います。

2. オンデマンド配信について

1. **視聴用 URL は、運営事務局より 7 月 22 日（火）に参加登録者に一斉に E メールにて送信**されます。
2. なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、**受信トレイ以外もご確認**いただきますようお願いいたします。

事務局・お問い合わせ

1 単位・参加証・領収書について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4 階

TEL：03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotmail.org

2 研修会・参加登録について

九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 インプラント・義歯補綴学分野医局内

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3 丁目 1-1

担当：森川

TEL：092-642-6441

(お問い合わせは内容確認のため、お名前フルネームと会員番号を記載の上メールにてお願い致します)

E-mail：info@hotmail-specialty.com

※自動返信メールが届かないというお問い合わせが増えております。お問い合わせ前に必ず「迷惑メールフォルダ」の中もご確認ください。

2. 専門医研修会タイムテーブル

10:00-10:50

【講演1】顎補綴治療における診査・診断の基本

座長：中島 純子（東京支部）

高橋 一也（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：小野 高裕（大阪歯科大学）

10:50-11:40

【講演2】インプラントを用いた顎補綴治療

座長：中島 純子（東京支部）

高橋 一也（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：小山 重人（東北大学）

11:40-12:00

【質疑応答】

3. 専門医研修会抄録

専門医研修会 座長抄録

座 長

中島 純子（東京支部）

東京歯科大学

高橋 一也（修練医・認定医・専門医制度委員会）

大阪歯科大学

Chairpersons

Junko NAKAJIMA

Department of Oral Medicine and Hospital Dentistry, Tokyo Dental College

Kazuya TAKAHASHI

Department of Geriatric Dentistry, Osaka Dental University

本研修会では、顎補綴治療の実践において極めて重要な視点を提供する二題の講演をお届けする。

まず小野高裕先生には、「顎補綴治療における診査・診断の基本」と題し、頭頸部腫瘍術後に生じる咀嚼・嚥下・構音といった多様な機能障害への的確な対応についてお話しいただく。上顎・下顎欠損それぞれの障害特性を踏まえ、構造化問診票やチェアサイドで行える簡便な機能検査法の紹介、補綴装置の選択と設計、診断から装置設計に至る一連の流れを解説していただく。口腔がんサバイバーに対する補綴専門医としての役割を包括的にご解説いただく。

続いて小山重人先生には、「インプラントを用いた顎補綴治療」として、広範囲な顎欠損や少数歯残存例に対するインプラント支持型補綴の有効性についてお話しいただく。治療計画段階から補綴主導で外科と連携し、骨造成・再建術を含めた包括的治療を構築する必要性が述べられ、診療ガイドラインに基づく最新の知見が共有される。多職種によるチーム医療のあり方も重要なテーマである。

両講演は、顎顔面補綴治療の基本と最先端を学ぶ貴重な機会であり、日常臨床に直結する実践的示唆に富んだ内容となっている。

トピックス

- 顎顔面補綴治療
- 広範囲顎骨支持型装置
- 医科歯科連携・多職種連携・チーム医療

中島 純子先生



東京歯科大学 オーラルメディシン・病院歯科学講座

略 歴

1997 年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
2001 年 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 修了
2004 年 東京医科歯科大学大学院 助手
2004 年 防衛医科大学校歯科口腔外科 助手
2008 年 防衛医科大学校歯科口腔外科 学内講師
2015 年 Medical University of South Carolina, Evely Trammel Institute for Voice and Swallowing
2019 年 東京歯科大学老年歯科補綴学講座 講師
2020 年 東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 講師
2022 年 東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 准教授

委員等

日本顎顔面補綴学会 理事ほか, 日本老年歯科医学会 編集委員会, 渉外委員会ほか

専門医等

日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本口腔外科学会 専門医
日本老年歯科医学会 専門医
日本顎顔面補綴学会 認定医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士

高橋 一也先生



大阪歯科大学 高齢者歯科学講座

略 歴

1986 年 大阪歯科大学卒業
1990 年 大阪歯科大学大学院修了（歯科補綴学専攻）
1991 年 大阪歯科大学 助手（歯科補綴学第一講座）
2009 年 大阪歯科大学 助教（高齢者歯科学講座）
2010 年 大阪歯科大学 准教授（高齢者歯科学講座）
2017 年 大阪歯科大学 主任教授（高齢者歯科学講座）

所属学会

一般社団法人 日本歯科専門医機構 補綴歯科専門医
公益社団法人 日本補綴歯科学会 専門医・指導医
一般社団法人 日本老年歯科医学会 専門医・指導医・摂食機能療法専門歯科医師
一般社団法人 日本口腔リハビリテーション学会 指導医

専門医研修会 講演 1 抄録

顎補綴治療における診査・診断の基本

演 者

小野 高裕（関西支部）

大阪歯科大学

Basic considerations in prosthodontic treatment for the patient with jaw defect

Takahiro ONO

Department of Geriatric Dentistry, Osaka Dental University

顎顔面補綴治療の主たる対象である頭頸部腫瘍術後症例の口腔機能障害は、咀嚼・嚥下・構音の多岐に渡るだけでなく、その様相は手術侵襲や再建方法によって異なり、しばしば患者のQOLに深刻なダメージを与えている。したがって、補綴専門医は口腔組織の実質欠損にのみ目を奪われるのではなく、まず障害の内容と程度を的確に把握したうえで、リハビリテーションに最も適した装置を選択・設計しなければならない。

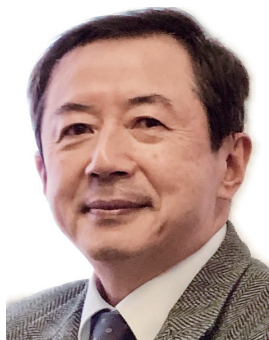
今回は、まず上顎欠損症例と下顎欠損症例に分けて機能障害の特徴について解説し、構造化された問診票を用いて機能障害をスクリーニングする方法について述べ、チェアサイドで簡便にできる機能検査法のいくつかを紹介する。

次に、上顎欠損症例にフォーカスして、(1) 腫瘍治療のステージに応じた補綴装置の適用方法、(2) 術後に顎欠損を生じた非再建症例の基本的な治療の流れ、(3) 顎義歯の基本的設計、(4) 顎義歯の治療効果に影響を及ぼす因子などについて解説する。また、形成外科的再建が行われても、しばしばそれが補綴治療を困難にする原因となることがある。根本的には医科歯科連携の問題であるが、ここでは補綴的に可能な対応について言及する。

トピックス

- 診査・診断
- 機能障害
- 上顎欠損に対する顎義歯

小野 高裕先生



大阪歯科大学歯学部 高齢者歯科学講座

略 歴

- 1983 年 広島大学歯学部 卒業
- 1987 年 大阪大学大学院歯学研究科博士課程 修了
- 1988 年 大阪大学歯学部（歯科補綴学第二講座） 助手
- 1995 年 大阪大学歯学部附属病院（第二補綴科） 講師
- 1998 年 大阪大学歯学部（歯科補綴学第二講座） 助教授
- 2000 年 大阪大学大学院歯学研究科（歯科補綴学第二講座） 助教授
- 2014 年 新潟大学大学院医歯学総合研究科（包括歯科補綴学分野） 教授
- 2017 年 新潟大学医歯学系副学系長・評議員，新潟大学歯学部副歯学部長
- 2023 年 大阪歯科大学歯学部（高齢者歯科学講座） 専任教授，新潟大学名誉教授
- 2025 年 大阪歯科大学歯学部（高齢者歯科学講座） 特任教授

資 格

- 一般社団法人日本歯科専門医機構 補綴歯科専門医
- 公益社団法人日本補綴歯科学会 専門医・指導医
- 一般社団法人日本老年歯科医学会 専門医・指導医
- 一般社団法人日本顎顔面補綴学会 終身認定医
- NPO 法人日本咀嚼学会 健康咀嚼指導士

専門医研修会 講演 2 抄録

インプラントを用いた顎補綴治療

演 者

小山 重人（東北支部）

東北大学

Maxillofacial prosthodontic treatment using dental implant

Shigeto KOYAMA

Maxillofacial Prosthetics Clinic, Tohoku University Hospital

顎補綴治療において、顎欠損範囲が大きくなり、残存歯が少なくなるほど顎補綴装置単独の適用では、補綴装置の維持安定を図ることが困難となる。これら従来の顎補綴装置では機能回復が困難な症例に対してインプラントを残存骨や再建骨に埋入し、顎補綴装置の維持・支持に利用する「広範囲顎骨支持型装置・補綴」を実施することによって多大な効果があることが示されてきた。顎顔面補綴診療ガイドライン 2019（日本顎顔面補綴学会編）では、上顎欠損患者の機能回復には、広範囲な顎欠損および少数歯残存症例に対してインプラント支持の顎義歯が機能回復に有効であるとし、下顎欠損患者では欠損条件に関わらず、インプラント治療が推奨されている。

しかし、この治療を成功させるためには、適切な部位へのインプラント埋入を可能とする骨量および十分な補綴スペースの確保が肝要となる。このためには、診断・治療計画立案の段階から、補綴と外科の連携のもと、状況によっては顎骨再建術・骨造成術を選択しなければならない。すなわち、治療当初からメンテナンスまで、最終補綴方法を考慮した補綴主導型治療の実施することによって、各々の症例に最適な補綴装置を選択することが可能となる。インプラントを用いた顎補綴治療においては、コメディカルを含めた多職種連携に基づいたチーム医療が最も大切であろう。

本研修会では、顎補綴治療において、有効な選択肢である広範囲顎骨支持型装置・補綴を、いかに効果的に取り入れ実践し、成功に導くかを解説していきたい。

トピックス

- 顎補綴装置
- 広範囲顎骨支持型装置・補綴
- 多職種連携・チーム医療

小山 重人先生



東北大学病院

略 歴

- 1986 年 東北大学歯学部 卒業
- 1990 年 東北大学大学院歯学研究科博士課程 修了
東北大学歯学部歯科補綴学第二講座 助手
- 1995 年 東北大学歯学部附属病院 講師
- 1999 年 イリノイ大学シカゴ校メディカルセンター
～ 2000 年 クラニオフィシャルセンター・フェロー
- 2007 年 東北大学病院・歯科部門・顎顔面口腔再建治療部長 准教授
- 2013 年 東北大学病院・歯科インプラントセンター長（兼） 特命教授
- 2019 年 東北大学病院・嚥下治療センター副センター長（兼）

資 格

- 一般社団法人日本歯科専門医機構 補綴歯科専門医
- 公益社団法人日本補綴歯科学会 専門医・指導医
- 一般社団法人日本顎顔面補綴学会 認定医
- 公益社団法人日本口腔インプラント学会 専門医・指導医

— 本誌を複写される方に —

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone：978-750-8400 Fax：978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

日本補綴歯科学会 令和7年度第1回専門医研修会抄録集

令和7年7月20日発行

発行者 大久保 力廣

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090